



平成26年度

平成25～29年度文部科学省 SSH 指定校

10月25日(土)～26日(日)実施

北鷹SSH通信 no.14

秋田県立秋田北鷹高等学校

本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>SSH <https://ssh.jst.go.jp/>

北秋田市産業祭 ～成果の普及と科学の普及～

第7回北秋田市産業祭が「広げよう 未来につなぐ 北秋田ブランド」をテーマに鷹巣体育館で行われ、農・工・商全般にわたる農産物や企業製品などが展示されました。

本校は体育館に設置されたブースの1つを使い、一般の方を対象に農業科、家庭クラブ、科学部の活動を紹介し、花等を販売しました。

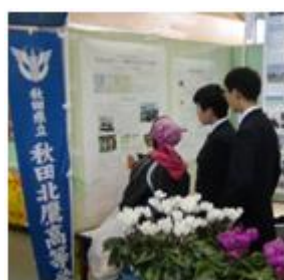
科学部はSSHの取組の一環として英国海外研修の成果発表と小学生を対象にした実験講座を行いました。

成果の普及(英国海外研修)	科学の普及(小学生実験講座)
①モデルロケット国際大会のポスター発表 ②ロケット展示 ロケット甲子園と国際大会で実際に打ち上げたロケットの展示と説明	①レモン電池の電圧を測る ②浮沈子を上下させる ③指ハブで摩擦力を体験 ④南極の氷の音を聞こう

南極の氷は、10月に本校で実施したSSH講演会(国立極地研究所准教授による講演)で提供していただきました。会場の様子と実験内容を紹介します。



主会場の鷹巣体育館



ポスター発表



ロケット展示と科学実験講座



浮沈子



ロケットの説明



指ハブ



南極の氷



レモン電池

北秋田市産業祭の成果

農業科のある本校が参加できる産業祭において、一般の方を対象に英国海外研修の成果と科学の楽しさの普及に努めました。

上下に分離するとパラシュートが出てくるモデルロケットに驚く姿や、モデルロケット国際大会の様子を詳しく聞く姿が多く見られました。

実験講座には約20名の小学生が参加し、指に差し込んで抜けなくなった指ハブを懸命に引き抜こうとする姿や南極の氷が融けるときに発する「ぱちぱち」という小さな音を懸命に聞こうとする姿などがみられ、小学生に科学の楽しさを体験していただきました。